



# 伊藤 翼

Itō Tsubasa



## 異動経歴

H26年採用 安房地域振興事務所  
H29年 健康福祉部 保険指導課  
R2年 内閣府（防災担当）研修  
R3年 防災危機管理部 防災政策課  
R4年 防災危機管理部 危機管理政策課

## Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

担当する仕事の種類が多彩であり、その時担当する業務について、一から学ぶとともに、これまでの仕事の経験を生かしながら取り組む過程に魅力があると思います。

また、県民の生活に広く関わる仕事であるため、例えば新型コロナウイルス感染症対策のように、喫緊の社会課題への対応に取り組める点でもやりがいがあります。

## Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

災害時に避難をする避難所の環境整備や、避難の際に助けが必要な方の支援に関する仕事をしています。昨今の災害でも高齢者等が多く亡くなっており、避難行動に支援が必要な方の避難体制を確保することは大きな課題です。

そこで、実際の避難所整備や避難支援の主体となる市町村向けに研修会を開催したり、市町村を訪問し各地域の状況をお伺いするなど、課題解決のために様々な施策を検討、実施する過程にやりがいを感じます。

## Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

千葉県で育ち、愛着があったことが大きな理由の一つです。

## Q4 職場の雰囲気について教えてください。

風通しがよく、上司・同僚に相談等をしやすい雰囲気です。

防災・危機管理業務を担当しているため、台風接近時など災害の恐れがある場合には、最悪の事態を想定しながら、強い緊張感をもって対応するなど、メリハリをつけて業務に取り組んでいます。

また、子育てをしているとどうしても急な休みなどが多くなりがちですが、職場全体で助け合って仕事をしており、小さな子供を持つ身としては非常に助かっています。

## Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

どんな業務であっても、その先には県民の皆様や千葉県で活動する事業者、千葉県を訪れる方がいることを心掛けるようにしています。

また、同僚や市町村など様々な関係者と連携しなければできない仕事なため、どんな関係者にもできる限り親切・誠実でありたいと思っています。

## Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

健康福祉関係の業務を担当した際には、複雑な社会保障制度の法令や仕組みの理解に苦勞しました。国の防災担当に研修派遣となった際には、大きな災害発生時の、迅速かつ大量な業務処理が大変でした。現在も、限りある予算や人手の中で、どうしたら効果的に地域の防災力を強化していけるか日々頭を悩ませています。

大変なことはやりがいの一つでもあり、上司・同僚などの力を借りながら取り組んでいます。

## Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

都市や農村、工業地帯や観光地など地域によって様々な顔を持っている点が大きな魅力だと思います。

## Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

子供が生まれたばかりなので、子供の世話をしているとあっという間に一日が終わります。小さな子供は、昨日より今日、今日より明日と日々できることが増えていくので、できるだけ多くの時間を一緒に過ごせればと思っています。

千葉県では、男性職員の育児休業の取得も非常に奨励されており、私も2か月間の育児休業を取得しました。

## Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

現在担当している防災・危機管理関係業務について、知識や経験を深めたいです。自然災害等への対応経験は、今後他の業務に取り組む際にも役に立つものと考えています。

## Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

進路を選択することは、皆様にとって大きな決断であると思いますが、皆様の関心や強み、経験を生かせる仕事がきっとありますので、是非一緒に仕事をしましょう。

### ある一日の流れをピックアップ

- 8:30 出勤・メールチェック
- 9:00 国からの照会事項への回答案作成
- 10:30 避難所の環境整備に関する市町村からの問合せに回答
- 12:00 昼食
- 13:00 高齢者等の避難支援について市町村から取組状況をヒアリング
- 15:00 ヒアリング結果に関する取りまとめ資料等の作成
- 17:15 退庁
- 19:00 帰宅後、子供の寝かしつけなど

